

移動用いすの製作

1 相談内容

相談者は普段、車いすを利用して生活をしています。これまで住環境などを整備していたので、生活にそれほど不自由を感じていなかったそうです。しかし、法事等の慶弔時には周りの方は正座をしている中、自分だけが車いすでいることに違和感を感じていたそうです。そこで、皆さんと同じ目線で法事等に参加したいので、低い位置で座ることのできるキャスター付きのいすはないかという、ご相談がありました。

2 利用者プロフィール

30代女性、事故による脊椎損傷(両下肢機能全廃)により身体障害者手帳1級、夫とお子さんの3人で暮らしています。ご自身の身体機能は高く、床でのいざり移動や、車いすでのプッシュアップもできます。外で仕事をしながら、家事もこなしています。

3 対応

まず、市販品で相談者のニーズに合う製品がないかを調べましたが、なかったため製作することにしました。いすはイレクターパイプを利用して、枠組みを作り、小径のキャスターを付けて座面の高さを105mmとし、床からのプッシュアップにより、ご自身でいすに移乗できるようにしました。座面は12mm厚の板を固定しただけのものです。お尻を守るために、クッションとして座面にウレタンを貼りつける予定でしたが、ご本人より板のままでよいということで貼りつけはしませんでした。



作成した移動用いす



移動いすの裏側

4 結果

本人は、この移動いすを法事の時に使うことができ、皆さんと同じ目線で参加できたことにとっても満足しておられました。このいすに座った後は、自分で手でこいで動くことができます。加えて、子供が背中を押して移動を手伝ってくれるので助かる、との感想もいただきました。